

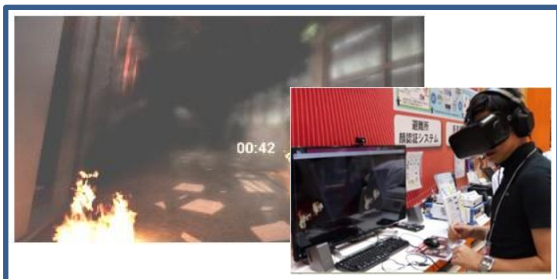
防災関連商品にもIT化の波 防災アイテムに新時代到来

企業・団体の防災に関する課題解決を行っているそごう・西武 商事事業部は、東京ビッグサイトで開催される「オフィス防災 EXPO」に出展。「当ブースを見れば、防災の全体像がわかる」を主眼に置いて構成されたブースで、定番の防災備蓄品から最新の防災訓練用機器、備蓄品の管理を効率化するアイテムにいたるまで、さまざまなメーカーの防災用品を取りそろえ総合的にご提案いたします。会場では、防災士の資格を持つ弊社社員が、防災備蓄品の入換え・見直しの商品選定ポイントをご説明いたします。

第11回 オフィス防災EXPO

- 7月26日(水)～28日(金) 各日 午前10時～午後6時
- 東京ビッグサイト=東4ホール 32-5

■VRを活用した訓練で真剣度・効率をアップ



VR(バーチャルリアリティ)を活用した最新の防災訓練用機器。眼前に広がる災害現場をリアルに感じながら避難訓練ができ、従来よりも訓練実施者の真剣度がアップ。場所もとらないので、訓練実施の効率が高まります。集団訓練と併用して災害に備える、防災訓練のニュースタイルが会場で体験できます。

■防災備蓄にもICタグを導入



ICタグを防災に活用して、備蓄品の在庫管理や点呼を効率化。備蓄品のパッケージにICタグを取り付けることにより、在庫の確認や不足品の補充に活用できます。また、ICタグを社員証に取り付けることで、避難時に短時間に点呼が可能。整列しなくても、逃げ遅れなどの状況が把握できます。会場では、備蓄品の棚卸、探索、点呼などのデモを行います。

■最新の防災アイテムで長期化、多言語化に対応



「栄養士監修の備蓄食品」や「電動トイレ」など、避難生活が長期化した際に問題となる栄養面や衛生面に対応したアイテムもご紹介。また、訪日客が急増している今だからこそ用意したい「多言語メガホン」も登場します。

※画像はイメージです。展示内容は都合により変更となる場合がございます。